

中井町生涯学習施設建設基本構想及び中井町生涯学習施設建設基本計画に 対する意見等及び町の考え方について

中井町生涯学習施設建設基本構想及び中井町生涯学習施設建設基本計画に対する意見の募集を行った結果、概要は次のとおりです。

- 1 意見の募集 令和6年12月3日（火）～令和6年12月23日（月）【21日間】
- 2 素案の公表方法 (1) 町公共施設（農村環境改善センター、井ノ口公民館、境コミュニティセンター）における閲覧
(2) 町ホームページへの掲載
- 3 意見の提出方法 郵送、ファクシミリ、電子メール、オンラインフォーム及び持参
- 4 意見等の提出者数 3人
- 5 意見等の提出件数 4件
- 6 意見等の内容及び対応等 別表のとおり

※ 別表中の対応区分の内容は下表のとおり

A	意見の趣旨等を基本構想（案）・計画（案）に反映させるもの
B	意見の趣旨等はすでに基本構想（案）・計画（案）に反映されていると考えられるもの
C	意見の趣旨等を基本構想（案）・計画（案）に反映することは困難だが、参考とさせていただくもの
D	内容に関する感想等その他のもの

問合せ先

中井町教育委員会生涯学習課
電話 0465-81-3907（直通）

番号	該当ページ及び項目	意見等	意見に対する考え方	対応
1		町民で色々意見を出し合う事ができる企画はとても良いと思い、数回ワイガヤサロンに参加させて頂きました。 参加した際はコンサルティングの方が主にお話をされ、実際に町民が意見を出し合えるような時間が少なかったと感じました。また、回を重ねても前回の話を元にまとめられたものなどがわかりにくく感じました。 すでに決まっている事があるのであればそれを先にきちんと説明して頂き、その上でこれから考えるべき事、意見を聞きたいところ、などを提示して町民からの意見を大事に聞いてもらいたいと思いました。今回のワイガヤサロンを通して、町民の意思によって作られた生涯学習施設が出来るとは感じられませんでした。 生涯学習施設の内容は全て町民の意見を取り入れて作るというのは難しいですし、全ての人が同じ意見を持っているわけではないのでまとまらないのはわかりますが、きちんと予定している予算や規模感などを説明して頂き、どの部分を特に町民の意見を重視して作りたいのか提示してほしいです。その上で何を視察するべきなのか、どんな人に話を聞くべきなのかが決まってくるのが筋だと思いますが、今回は始まる前から視察に行く場所が決まっており、そこもなぜだろうと感じました。 作るのであれば町民の財産になる良い施設になるように、願っています。	今後の進め方に活かしてまいります。	C

2	基本計画（案） P. 7 2. 8つの機能の使い方・使われ方 （4）図書館機能	いよいよ新しい生涯学習施設が、3年後に完成するのですね。 多くの町民が中井町に希望し、利用すると思われるのは、まず図書館です。本年7月の講演会で平田オリザ氏も「町民の文化度を上げる意味においても、図書館は重要」と言っていました。 今回の施設の基本計画を見ると、図書館以外にも多目的ホールやスタジオ等を入れるようですが、図書館のスペースが少ないように思われます。 あまり欲張らないで「中井町の図書館は凄い」と言われる位のものを作るべきと考えます。	図書館の占有面積としては 500 平米を想定していますが、今回の計画では社会教育施設全体で連携・融合を図ることを重視しています。このため施設全体を図書館としても活用できるように図っていきます。	C
3	基本計画（案） P. 7 2. 8つの機能の使い方・使われ方 （4）図書館機能	図書室位置 ・子どもが学校の帰りに気軽に立ち寄れる位置。 ・学童保育を読み聞かせの場にして2階までかどうか。 ・図書館を見学した図書館活動を考えている人はどう思っているのか、話を聞きたい。 ・私は障がい者で車イス利用者ですが、選挙投票の時もヘルプの人に来てもらい、車イスにのせてもらい投票していますが、自分一人でエレベーターにのることは不安があります。	設計者プロポーザルでの提案を踏まえて、検討していきます。なお、書架間の距離等は法律に則り徹底していきます。	C

4	基本計画（案） P.19 6. 今後の進め方 （2）運営体制の検討と運営計画の策定	まだ先の事ですが、図書室に司書、郷土資料館に学芸員、公民館的な存在には社会教育士（昔は社会教育主事でしたが）を配置して、専門職制として採用すべきです。 今までは3～4年して異動する町長方式でしたが、これからの時代は専門職制の時代で、募集時に明記すべきです。 近隣市町でも、司書学芸員、社会教育士としての採用はあります。 社会福祉士はありますが、生涯学習を受けもつ社会教育士はなぜないのか。	基本計画案の「6.今後の進め方」「(2) 運営体制の検討と運営計画の策定」で記しているように「運営体制を支える2つの仕組み」の1つとして「専門的な人材を確保すること」を図っていきます。	C
---	--	---	---	---